

## 検察官からのメッセージ



### H 検事

#### ひとつこと

我が家の愛犬の成長を見守るのが  
毎日の幸せです。



#### 【検事を目指したきっかけ】

中学2年生の頃、「HERO」というドラマの再放送を見て、そのドラマに描かれていた「検事」という仕事のカッコよさに憧れ、検事を目指すことになりました。

ドラマで描かれていた、一つ一つの事件、被疑者・被告人、被害者に真っ正面から向き合う検事の姿はとてもカッコよく感じました。

その検事が言っていた「被害者の声になってやれるのって、俺らしかいないじゃん。」や「神でもない、俺たちが、人を裁判にかけか決めるんですよ。だからこそ、相手がどんな立場の人でも公正な目で被疑者と向き合わなきゃいけないんです。真実を、納得いくまで追及する。それが俺たちの義務なんです。（一部略）」は、痺れましたし、忘れられない名言です。

#### 【業務内容、仕事のやりがいなど】

私は、現在、刑事部という部署で勤務していますが、刑事部では、警察官が捜査し、送致してきた事件について、起訴するか、しないかを判断することになります。この事件がどのような事件なのか、何があったのかを明らかにするため、頭をフル活用し、警察官に証拠収集を指示し、自らも証拠を集めることで、事件の真相を明らかにしていきます。主には、被疑者、被害者、目撃者などから話を聞くこととなりますが、実際に現場に足を運び、話だけでは見えてこない事実がないか探したり、スマートフォンの解析データを見たり、防犯カメラ映像を見たりして、証拠を集めていきます。やはり、警察官と一丸となったり、自ら証拠収集をしたりして、真相に近づく証拠を得られ、その真相に見合った処分を決めることができたときには強いやりがいを感じます。

## 【メッセージ】

検事という仕事は、決して楽な仕事ではありません。ですが、皆様がニュースで目にする何気ない事件の全てには、犯人、被害者といった私や皆様と同じ「人」が関係していて、その事件の真相を自らの頭と足で明らかにしていくことができ、それにより、犯人や被害者の一生に関わる判断をすることができるというのは検事以外にはいません。ぜひ、このホームページを見てくれた皆様には、検事に興味を持っていただき、一緒にやりがいを感じていただければと思います（ぜひ、HEROを見たことがない方は見てみてください！！）。